

令和6年度地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業構造

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支え、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

子どもの郷土愛醸成や保護者の子育て支援、地域の教育力向上、学校が抱える課題の複雑化・困難化等の社会的課題の解決のため、学校と地域の連携・協働体制づくりを推進

県事業

地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会

- 地域と学校の連携・協働体制や地域学校協働活動の効果的な取組の在り方・成果等についての検証・評価
- 地域の教育力向上や学校が抱える複雑化・困難化する課題の解決につながる協働活動の在り方についての検討等

活動別研修事業

- 【目的】 活動の充実に向け関係者の資質向上と情報交換等を実施
- 【内容】 各活動に係る研修会の実施
- 地域学校協働活動とコミュニティ・スクール(CS)の一体的推進
 - 放課後の学習支援・体験活動
 - 子どもを健やかに育む体制づくり

普及啓発事業

- 【目的】 保護者・教員・地域住民・福祉関係者等による地域の教育支援の意識啓発
- 【内容】 ○愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い
- 【目的】 各協働活動の効果的な取組や支援体制づくり
- 【内容】 ○事例集作成(Web公開・データ提供)
- CSアドバイザーの派遣

家庭教育支援リーダー養成事業

- 【目的】 家庭教育支援に携わる人材を養成し、保護者への学習機会等の充実を図り、家庭教育支援体制づくりを推進
- 【内容】 ○家庭教育支援者養成講座(東・中・南予で各1回)
- 学習機会等で活用できる参加型プログラムの普及啓発

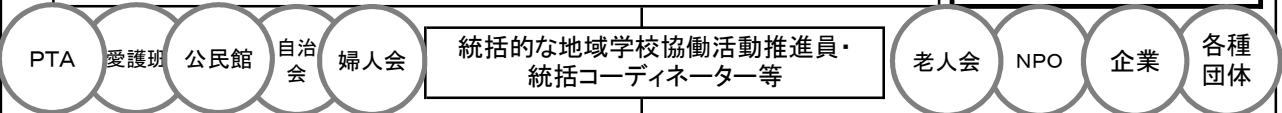
市町補助事業

運営委員会

- 各地域の実情に応じた活動内容や運営方法、人材配置、他部局との連携等の検討
- 学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、統括的な教育活動推進員等

補助要件

- CS導入又はCS導入計画がある
- 地域学校協働活動推進員の配置



地域学校協働本部 <学校と地域住民等が目標・活動方針・取組内容等を共有>

地域学校協働活動 【13市町167箇所】 (2市町14箇所増予定) 地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター 協働活動支援員 協働活動サポーター ボランティア ・郷土学習、学びによるまちづくり等 ・体験・ボランティア活動支援 ・部活動指導 ・学校環境整備 ・登下校の見守り ・補導時の対応 など	重点化 ※「学校における働き方改革」を踏まえた活動 ※地域における学習支援・体験活動 えひめ未来塾 【6市町70箇所】 (4箇所増予定) 地域コーディネーター 学習支援員 協働活動サポーター	放課後子ども教室 【13市町106教室】 (3教室増予定) 地域コーディネーター 協働活動支援員 協働活動サポーター	土曜教育活動 【8市町21箇所】 (1市2箇所増予定) 地域コーディネーター 協働活動支援員 協働活動サポーター	学校運営協議会との一体的な推進 家庭教育支援 【9市町5チーム】 地域コーディネーター 家庭教育支援リーダー 家庭教育支援員 ・保護者等の相談や支援 ・保護者等への学習機会の提供 ・親子参加行事支援 ・支援が届きにくい家庭への支援の充実 など
	・放課後等の学習機会提供・支援 ・学習習慣の育成 ・学習支援や悩み等への対応 ・学力強化シートの活用(義務教育課作成・配布) ・教員OBの活用	・学習支援や文化・スポーツ、自然体験活動支援 ・異年齢集団や地域の方との交流活動 ・児童クラブと一体・連携した取組 など	・休日ならではの豊かな体験や学びの実施 ・プロや専門家の教育支援や継続的なプログラム提供	

幅広い地域住民の参画・協力・支援等

地域ぐるみで地域の教育活動を実施し、全ての子どもの健全育成を支援

※実施市町及び箇所数(R6.3仮申請時点)。中核市である松山市を除く。